



村山順吉プロフィール

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業、東京学芸大学大学院修了。
ウラジミール竹の内、木村潤二、ジャン・ジャックス・デュンキ、エレナ・アシュケナージの各氏に師事。

1982年より家永音楽事務所に所属、各地でのリサイタルをはじめ数多くのコンサートに出演する。

1984年にはラフマニノフ作曲「ピアノコンチェルト第2番」を東京シティフィルハーモニック管弦楽団と協演。1986年には小田野宏之指揮東京シティフィルハーモニック管弦楽団と、再度ラフマニノフ作曲「ピアノコンチェルト第2番」を協演。いずれも好評を博している。同年12月KAY合唱団、新日本フィルハーモニー交響楽団によるヘンデル作曲「メサイヤ」にチェンバロ奏者として出演する。1988年には、十東尚宏指揮東京都交響楽団とモーツァルト作曲「ピアノコンチェルト第23番」を協演。1987年2月に東京文化会館小ホール、1990年7月、1994年2月に津田ホール、1995年11月、1996年7月、1997年9月、1998年7月、1999年11月、2001年11月にサントリーホールで開催したリサイタルは、「音楽の友」、「ムジカノーヴァ」、「ショパン」各誌上において好評を博している。1992年からスイスに留学し、バーゼルムジークアカデミーのプロフェッサー、ジャン・ジャックス・デュンキ氏のもとで研鑽を積み、1993年2月バーゼルでもリサイタルを開催した。2007年7月にロードショー公開されたアニメ「ピアノの森」の全てのピアノ演奏シーンに、演奏演技コーリオグラフとしてかかわり、また主人公「市ノ瀬 海」の演奏シーンのモデルをつとめる。

現在、聖学院大学教授、児童学科長、大学院兼任教授、聖学院みどり幼稚園副園長、子育て支援センター長、日本女子大学講師、日本演奏連盟会員。